

ひまわり保育園役員（保護者） 意見交換会

令和4年4月24日（日）9時00分から9時40分
川里生涯学習センター

① 参加者（5名）

保護者4名 ひまわり保育園長

② 出席者

斎藤教育部長 新井副主査 堀主任

③ 以下、主な意見要旨

保護者①	・新設することで、転入してくる児童も増えてくると思う。 ・新しく綺麗な学校に通えるのは羨ましい。
保護者④	・どこに新設するのか。 ⇒検討中。小中一貫校、義務教育学校を検討する中では川里中学校に隣接する箇所に建設することを考えている。 ・スクールバスの運行についてはどのように考えているのか。 ⇒今年度から笠原全域でスクールバスを運行している。 市で設けているスクールバスの基準に沿って検討していくことになると思うが、安全面などを考慮し、柔軟な対応をとっていきたい。 ・乗降場所まで遠いと困る。 ⇒スクールバスの運行が決定したら、皆さんの意見を聞きながら、具体的な場所を決定していく。 笠原地域で運行しているスクールバスでも乗降場所を7箇所設けている。現実的には、笠原小学校に通うよりは短い距離に乗降場所は設置されている。 ・帰りもそれぞれの学年に合わせてスクールバスを運行してもらえるのか。 ⇒各学年の下校時刻に合わせて、スクールバスは運行する。 ・家から2kmの範囲内で自由に学校を選択することはできないのか。 ⇒通学区域は原則的に地区ごとに決めており選択制ではない。笠原地域の安養寺地区のように、地区全体で要望が多くあるときは検討し、通学区域の弾力化の対応をとることもある。
保護者②	・中学校もスクールバスになるのか。 ⇒現時点でいう中学生（義務教育学校である場合は7～9年生）はスクールバスの導入は考えていない。自転車での通学になる。

	・今年、共和小学校に入学して改めて古いと感じた。 今後のことを考えると、統合して、綺麗な学校で大勢と一緒に学んだほうが子どものためになるのかなと思う。
保護者④	・屈巢小学校では車いすの保護者もいて、教室に行くのも苦労している。新設することになればバリアフリーにも対応してもらえると思うので、そういう面でも新設するのは良いと思う。
保護者②	・未就学児の保護者周辺では賛成・反対というよりは、「また、この話か」という反応が多い。
保護者③	・平成27年度に話がでたときは反対した。理由は当時、スクールバスの運行は検討されていなかった。 今回、スクールバスが運行されるのであれば、統合して新設することに賛成。 ・スクールバスにおける料金の徴収はあるのか。 ⇒保育園の園バスように選択するものではないため、有料化は考えていない。 ・跡地活用はどうなるのか。 ⇒全国的に統廃合の事例は数多くある。テレビでやっているような成功例というのは数ある事例の中のほんの一握り。 校舎を活用しての宿泊施設や合宿所にするための設備投資というのは、土地柄や費用、継続性など、総合的に考えても難しいのではないかな。 例えば、校庭を公園などにして、地域の人たちが集まる場になればと教育委員会としては考えている。 これらのことから体育館は避難所として残すべきとは思いますが、校舎は民間事業者を含めて、需要がなければ取り壊すことも含めて検討するべきと考えている。 こうしてほしいという案があれば聞かせてほしい。 ・現時点では、こうしてほしいという案はない。 ⇒広報5月号でもアンケートを実施する。何か提案等あったら提出してほしい。
ひまわり保育園園長	・今年度閉所した富士見保育所で勤務していたが、子ども少ないことで苦労することも多かった。 子どもだけでなく先生も少ない。その中で、子どもたちに様々な体験をさせてあげる機会を設けるのは難しかった。これは保育園だけでなく、小学校でも同じことが言えるのではないかな。やはり、ある程度の人数の中で教育、活動をすることが大切ではないかなと感じる。 また、教え子の中でも中一ギャップに苦しんだ子どもがいる。それをケアするためにも、義務教育学校のように9年を一つのスパンと考えて教育を行うことの検討も大切だと思う。